

第3節 地域まちづくり課

〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域自治の推進、地域会議の運営支援、地域会議連絡調整会議の開催、まちづくり実働組織の認定、自治会との連絡調整、市民活動の推進である。

地域自治の推進については、従来の地域自治区制度が平成27年3月31日で終了したことから、柔軟な地域自治制度の運営を念頭に、市独自の栃木市地域づくり推進条例を制定し、地域会議とまちづくり実働組織を核とした新たな地域自治制度が4月1日からスタートした。

また、今年度より「地域予算提案制度」の運用もスタートした。この制度は、多様な地域の課題を効率的に解決するため、地域の住民が一定の枠内で予算の使い道を考える仕組みであり、当課所管の栃木地域の3つの地域会議から合計7つの事業を市長へ提案した。

自治会については、平成26年5月に岩舟地域が加わった栃木市自治会連合会の事務局として、自治会運営の円滑化を図った。また、栃木県自治会連合会会長研修大会が本市で開催され、県内各地の自治会役員が共に地域力の向上について学んだ。

市民活動の推進については、市民活動推進の拠点であるとちぎ市民活動推進センター「くらら」において、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を行うとともに、庁内における市民との協働を推進するため、全課に市民協働推進員を設置し、研修会等を開催した。

また、市民団体の主体的、公益的な市民活動を支援することを目的に、市民協働まちづくりファンド(基金)を設け、NPO団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化をさらに促進するため、市民活動推進補助金“とちぎ夢ファーレ”事業を実施した。

さらに、市民自らが毎年テーマを掲げ、企画運営する「とちぎ協働まつり」を、実行委員会との共催により開催した。

また、NPO団体や企業、行政等が協働し、地域課題の解決に取り組む地域版プラットフォーム事業として、新市の一体感の醸成事業を実施した。

まちづくり担当

1 地域自治の推進

(1) 地域会議委員委嘱に関する事務

新たな地域自治制度の導入に伴い、市内8か所に地域会議を設置する運びとなったことから、平成27年4月20日から平成29年3月31日までを任期とする地域会議委員に対する委嘱状交付式を実施し、委嘱状交付、市長あいさつ及び地域自治制度に関する説明等を行った。

・期日 4月20日(月)

・会場 市役所本庁舎 正庁

(2) 平成 27 年度栃木市地域づくりと協働の講演会

新たな地域自治制度の導入に伴い、住民主体の地域づくりの機運を醸成するとともに、地域づくりの人材の育成、行政と協働で取り組む地域づくりの実践方法等を学ぶため、下記の講演会を開催した。

・開催日 10月27日(火)

・会場 栃木文化会館 小ホール

・出席者 地域会議委員、市職員等 101人

・構成 演題 「地域づくりは人づくり～地域の活性化を担う人材の育て方～」

講師 高崎経済大学地域政策学部教授 大宮 登 氏

2 地域会議関係（栃木中央地域会議）

栃木中央地域会議は、18人の委員により下記の内容で実施した。

(1) 委員（任期 平成 27 年 4 月 20 日～平成 29 年 3 月 31 日）

区 分	No.	氏 名	備 考
1号委員	1	若林 芳明	栃木第1地区自治会連合会
	2	臼井 義雄	栃木第4地区自治会連合会
	3	鈴木 林彌	栃木第6地区自治会連合会
	4	高瀬 淳	栃木商工会議所 青年経営者会
	5	杉山 栄	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会
	6	村田 弘子	栃木地区女性会
	7	山口 真右	栃木市PTA連合会栃木中央ブロック
	8	青木 良一	栃木地区体育協会
	9	町田 爽起夫	栃木市第1区民生委員児童委員協議会
	10	木村 隆夫	栃木市認定農業者協議会
	11	中尾 秀美	栃木地区子ども会育成会連絡協議会
2号委員	12	佐山 正樹	学識経験を有する者
	13	大波 龍郷	
	14	石河 不砂	
3号委員	15	鬼塚 修	公募に応じた者
	16	下田 明範	
	17	渡邊 一浩	
	18	大浦 兼政	

(2) 地域会議の開催内容

回数	開催日時・場所	内 容
第1回	6月3日（水） 午後6時30分～ 市役所本庁舎庁議室	協議事項等 ・正副会長選出 ・委員の推薦について 報告事項等 ・新たな地域自治制度について
第2回	6月25日（木） 午後6時30分～ 市役所本庁舎正庁	協議事項等 ・栃木中央地域における課題の検討 ・地域予算の対象となる取組課題の候補の整理について ・委員の推薦について
第3回	7月23日（木） 午後6時30分～ 市役所本庁舎正庁	協議事項等 ・地方都市リノベーション事業について ・地域予算の対象となる取組課題の検討 ・委員の推薦について
第4回	8月27日（木） 午後6時30分～ 市役所本庁舎正庁	協議事項等 ・地域予算の対象となる取組事業の検討 報告事項等 ・地域自治交流会について
第5回	9月24日（木） 午後6時30分～ 市役所本庁舎議会議室	協議事項等 ・地域予算提案事業計画書の決定について ・まちづくり実働組織について ・委員の推薦について
第6回	11月26日（木） 午後6時30分～ 市役所本庁舎正庁	協議事項等 ・自主的審議に係る提案書について ・委員の推薦について
第7回	12月17日（木） 午後6時30分～ 市役所本庁舎正庁	協議事項等 ・自主的審議に係る意見書の提出について ・まちづくり実働組織について 意見聴取事項 ・栃木市文化振興計画実施細目（素案）について
第8回	1月28日（木） 午後6時30分～ 市役所本庁舎正庁	協議事項等 ・まちづくり実働組織について 報告事項等 ・自主的審議に係る意見書に対する回答について ・栃木市文化振興計画実施細目（素案）についての意見について ・組織機構の見直しについて（非公開）

第9回	2月25日（木） 午後6時30分～ 市役所本庁舎正庁	協議事項等 ・まちづくり実働組織について 報告事項等 ・新斎場建設地の決定について ・（仮称）栃木市文化芸術館・文学館基本計画（素案） に対するパブリックコメントについて
-----	----------------------------------	--

(3) 部会の開催状況

地域会議の内部組織として、総務産業教育部会及び教育民生部会の2つを設置し、それぞれ地域予算の対象となる取組課題の候補の整理を行った。

ア 総務産業建設部会

・開催日時 7月3日（金）午後6時30分～ 市役所本庁舎 会議室

イ 教育民生部会

・開催日時 7月9日（木）午後6時30分～ 市役所本庁舎 会議室

(4) 意見書の提出

栃木市地域づくり推進条例第4条第1項の規定に基づき、旧栃木警察署跡地の土地利用について自主的に審議を行い、1月12日（火）に市長に対して意見書を提出した。

(5) 地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を7月と12月の2回発行した。

・発行号数 創刊号、第2号

・体裁 A3版二つ折り 両面カラー刷り（第2号はA4版）

・発行部数 各14,200部

(6) 地域予算提案事業の概要

事業名	事業費
重伝建地区休憩施設設置事業	500 千円
栃木中央地域交通事故防止対策事業	499 千円
観光用記念撮影パネル設置事業	130 千円
巴波川沿岸修景事業	2,400 千円

3 地域会議関係（栃木東部地域会議）

栃木東部地域会議は、16人の委員により下記の内容で実施した。

(1) 委員（任期 平成27年4月20日～平成29年3月31日）

区分	No.	氏名	備考
1号委員	1	千葉 義弘	大宮地区自治会連合会
	2	大橋 哲夫	国府地区自治会連合会
	3	谷中 俊太郎	栃木商工会議所 青年経営者会
	4	五十嵐 記代子	大宮地区女性会
	5	倉持 好則	栃木市PTA連合会栃木東部ブロック
	6	神戸 透	栃木市体育協会第12支部

	7	島田 秀夫	栃木市第12区民生委員児童委員協議会
	8	大山 恵久	栃木市認定農業者協議会
	9	後藤 英雄	栃木地区交通安全協会国府支部
	10	田中 雅人	国府地区子ども会育成会連絡協議会
2号委員	11	柏崎 章吉	学識経験を有する者
	12	荻島 哲	
	13	神田 誠司	
3号委員	14	柏崎 桂二	公募に応じた者
	15	竹澤 克元	
	16	藤本 紀子	

(2) 地域会議の開催内容

回数	開催日時・場所	内 容
第1回	5月29日（金） 午後7時～ 国府公民館中会議室	協議事項等 ・正副会長選出 ・各種委員の選出について 報告事項等 ・新たな地域自治制度について
第2回	6月24日（水） 午後7時～ 大宮公民館大交流室	協議事項等 ・地域予算提案について ・部会について
第3回	7月22日（水） 午後7時～ 国府公民館大交流室	協議事項等 ・地域予算提案について ・地域会議だよりについて
第4回	8月26日（水） 午後7時～ 大宮公民館大交流室	協議事項等 ・地域予算提案について ・認定まちづくり実働組織について 報告事項等 ・栃木市地域自治交流会について
第5回	9月16日（水） 午後7時～ 国府公民館大交流室	協議事項等 ・地域予算事業計画書（案）について ・栃木市市民会議委員の推薦について
第6回	10月28日（水） 午後7時～ 大宮公民館大交流室	協議事項等 ・地域予算事業計画書について ・栃木東部地域会議だより（第2号）について ・認定まちづくり実働組織について
第7回	11月18日（水） 午後7時～ 国府公民館小会議室	協議事項等 ・栃木東部地域会議だより（第2号）について 意見聴取事項 ・栃木市文化振興計画実施細目（素案）について

		・ 栃木市生活排水処理構想（案）の策定について
第8回	1月27日（水） 午後7時～ 国府公民館小会議室	協議事項等 ・ 認定まちづくり実働組織について 報告事項等 ・ 組織機構の見直しについて（非公開）
第9回	3月23日（水） 午後7時～ 国府公民館小会議室	協議事項等 ・ 認定まちづくり実働組織について 報告事項等 ・ 新斎場建設地の決定について

(3) 意見書の提出

- ・ 該当なし

(4) 地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を8月と12月の2回発行した。

- ・ 発行号数 創刊号、第2号
- ・ 体 裁 A4版 両面カラー刷り
- ・ 発行部数 各7,000部

(5) 地域予算提案事業の概要

事業名	事業費
大宮運動広場整備事業	3,040 千円

4 地域会議関係（栃木西部地域会議）

栃木西部地域会議は、16人の委員により下記の内容で実施した。

(1) 委員（任期 平成 27 年 4 月 20 日～平成 29 年 3 月 31 日）

区 分	No.	氏 名	備 考
1号委員	1	癸生川 孔章	吹上地区自治会連合会
	2	関口 茂一郎	皆川地区自治会連合会
	3	浅野 照男	寺尾地区自治会連合会
	4	小林 雄一	栃木商工会議所 青年経営者会
	5	大塚 正江	吹上地区女性会
	6	寺内 富士男	栃木市 PTA 連合会栃木西部ブロック
	7	大阿久 安弘	吹上地区体育協会
	8	鯉沼 政江	栃木市第 11 区民生委員児童委員協議会
	9	野原 保	栃木市認定農業者協議会
	10	大阿久 妙子	栃木地区交通安全協会交通安全皆川支部女性部
2号委員	11	大橋 利隆	学識経験を有する者
	12	酒巻 幸夫	

	13	飯塚 昌宏	
3号委員	14	大島 千恵子	公募に応じた者
	15	臼倉 由美子	
	16	鯉沼 恵子	

(2) 地域会議の開催内容

回数	開催日時・場所	内 容
第1回	6月1日（月） 午後7時～ 吹上公民館大交流室	協議事項等 ・正副会長選出 ・各種委員の選出について 報告事項等 ・新たな地域自治制度について
第2回	6月23日（火） 午後7時～ 寺尾公民館大交流室	協議事項等 ・地域予算提案制度取扱事業について ・まちづくり実働組織について ・広報について ・委員の推薦について
第3回	7月28日（火） 午後7時～ 吹上公民館大交流室	協議事項等 ・地域予算提案事業について ・事業計画書の作成について ・委員の推薦について
第4回	8月25日（火） 午後7時～ 寺尾公民館大交流室	協議事項等 ・地域予算提案事業について ・地域予算事業計画書の策定について
第5回	9月15日（火） 午後7時～ 皆川公民館大研修室	協議事項等 ・地域予算提案事業計画書の提出について ・まちづくり実働組織について ・委員の推薦について
第6回	11月24日（火） 午後6時30分～ 皆川公民館大研修室	協議事項等 ・まちづくり実働組織について 意見聴取事項 ・栃木市文化振興計画実施細目（素案）について
第7回	1月26日（火） 午後6時30分～ 寺尾公民館大交流室	協議事項等 ・まちづくり実働組織について 報告事項等 ・組織機構の見直しについて（非公開）
第8回	3月22日（火） 午後7時～ 吹上公民館大交流室	協議事項等 ・まちづくり実働組織について ・調査員の推薦について

	報告事項等 ・新斎場建設地の決定について
--	-------------------------

(3) 部会の開催状況

地域会議の内部組織として、皆川部会、吹上部会及び寺尾部会の3つを設置し、それぞれ地域予算の対象となる取組課題の候補の整理を行った。

ア 皆川部会

・開催日時 8月5日(水)午後7時～ 皆川公民館

イ 吹上部会

・開催日時 8月18日(火)午後7時～ 吹上公民館

ウ 寺尾部会

・開催日時 8月17日(月)午後7時～ 寺尾公民館

(4) 意見書の提出

・該当なし

(5) 地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を8月と1月の2回発行した。

・発行号数 創刊号、第2号

・体裁 A3版二つ折り 両面カラー刷り(第2号はA4版)

・発行部数 各5,000部

(6) 地域予算提案事業の概要

事業名	事業費
案内看板設置事業	1,973 千円
イベント用テント購入事業	685 千円

5 地域会議連絡調整会議

(1) 地域会議連絡調整会議

各地域会議の会長を構成員とする地域会議連絡調整会議により、地域会議の活動等に関する調整及び連絡を行った。

会長	佐山 正樹(栃木中央地域会議会長)
副会長	三室 一男(都賀地域会議会長)
	柏崎 章吉(栃木東部地域会議会長)
	癸生川 孔章(栃木西部地域会議会長)
	赤澤 美智子(大平地域会議会長)
	小曾根 慎一(藤岡地域会議会長)
	大塚 孝司朗(西方地域会議会長)
	渡辺 仁一(岩舟地域会議会長)

(2) 栃木市地域自治交流会

地域会議委員相互の情報交換と地域間の交流を促進し、地域づくり活動の活性化を

図るため、地域会議連絡調整会議の主催による地域自治交流会を実施した。

- ・実施日 10月17日(土)
- ・会場 西方総合文化体育館 サブアリーナ
- ・参加者 地域会議委員 73人
- ・内容 地域予算事業計画書の提出
研修会 「地域づくりの主体や課題の解決方法について」
講師 一般財団法人 地域活性化センター
総務企画部クリエイティブ事業室長 前神有里氏

6 まちづくり実働組織の認定

まちづくり実働組織は、地域内の多くの各種団体や住民等が構成員となり、地域会議と連携しながら、地域の課題解決や地域活性化のための実践活動に取り組む組織である。

また、一定の要件を満たすことで、市長の認定を受け、市の助成を受けることが可能であり、今年度は以下の1組織を実働組織として認定した。

- ・名称 「皆川地区街づくり協議会」
- ・代表者 大橋 利隆
- ・構成団体 自治会連合会、公民館連絡協議会、交通安全協会、女性会、長寿会、地区社協、体育協会、消防団、子ども会育成会、地域住民等

7 自治会関係

市全域の自治会相互の連絡調整を図り、地域間の情報を交換した。また、自治会組織の強化を図るため、栃木市自治会連合会の事務局として、地域住民の福祉の向上に寄与する各種活動への助成、市政への協力を得るための連絡を行うとともに、栃木地域においてはまちづくり懇談会を支援した。

(1) 自治会活動の推進

ア 単位自治会の把握

次年度自治会長名簿の取りまとめ

- ・期間 平成28年2月～5月
- ・対象 173自治会(栃木地域)

イ 自治会報償金の支出

- ・各単位自治会の世帯数調査(基準日 4月1日現在)
- ・報償金の支出
2月24日 支払い 473件

(2) 栃木市自治会連合会(事務局)

ア 組織構成

- ・組織 市内全地域の17地区、473単位自治会が加入
- ・役員 会長1人、副会長4人、会計2人、監事2人、理事22人
(総会にて決定、任期2年)

イ 会議等

- (7) 設立総会・自治会功労者表彰式

- ・実施日 5月18日（月）
- ・会場 栃木文化会館
- ・出席者 265人
- ・内容 栃木市自治会連合会通常総会 議事
功労者表彰式（特別功労者表彰4人、功労者表彰16人）

(イ) 役員会

第1回	4月30日（木）	・功労者表彰について ・役員を選任（変更）について
第2回	7月2日（木）	・自治会連合会だよりについて ・まちづくり懇親会ふれあいトークについて
第3回	10月14日（水）	・地域包括ケアシステムに伴う協力について ・豪雨の被害状況について ・役員視察研修会について
第4回	12月21日（月）	・栃木県自治会連合会会長研修大会について ・自治会連合会だよりについて
第5回	3月23日（水）	・功労者表彰について ・平成28年度収支予算について ・平成28年度行事予定について

(ウ) まちづくり懇談会（栃木地域）

開催日	会場
8月3日（月）	皆川公民館（皆川地区）
8月5日（水）	第5地区コミュニティセンター（栃木第1・5地区）
8月6日（木）	寺尾公民館（吹上・寺尾地区）
8月18日（火）	第4地区コミュニティセンター（栃木第2・3・4地区）
8月19日（水）	第6地区コミュニティセンター（栃木第6・7地区）
8月21日（金）	国府公民館（大宮・国府地区）

(エ) 役員研修

- ・実施日 2月9日（火）
- ・会場 市役所本庁舎 庁議室
- ・内容 意見交換
・関東東北豪雨について栃木市危機管理課との意見交換
- ・出席者 自治会連合会役員22人

(オ) 栃木県自治会連合会事業への参加

a 参加事業

- (a) 正副会長会議（宇都宮市東市民活動センター）
- (b) 常任理事会・定期総会・交流研修会（芳賀工業団地管理センター）
- (c) 先進都市視察研修（福島県郡山市）
- (d) 会長研修大会（栃木市文化会館 大ホール）
・内容 表彰式 栃木県自治会活動功労者知事表彰

栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰

研修会 演題 「見直そう！ご近所のカアップで元気な町に」

講師 ㈱NHK プラネット中部支部 放送事業部長

黒川 敬 氏

・参加者 市内自治会長、県内各市町村自治会役員（約 500 人）

(e) 県南ブロック会議（佐野市どまんなかたぬま）

(カ) 新春賀詞交歓会

・実施日 1月5日（火）

・会場 サンプラザ

・主催団体 当連合会、市、市議会、商工会議所、下野農業協同組合
外 5 団体

市民協働推進担当

1 市民活動の推進

市民による公益的な社会貢献活動を支援するため、次の事業を行った。

(1) 市民活動推進センター

とちぎ市民活動推進センター「くらら」の管理運営を、指定管理者制度により特定非営利活動法人ハイジに委託し、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を実施した。

ア 登録数

・団体 253 団体

イ 運営委員会の開催

実施日	場所	出席者（人）
3月9日（水）	市民活動推進センター	8

ウ 利用状況

来館者（人）	会議室使用		作業室使用（人）	相談件数（件）	印刷回数（回）
	団体数	人数			
18,131	571	6,381	1,967	403	630

エ ホームページ閲覧 10,991 件

オ 情報紙発行 毎月 2,000 部発行

カ 広報とちぎ（4月号）へ情報紙折込み 全戸配布

(2) 特定非営利活動法人の認証等

栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき、平成 19 年度から権限移譲を受け、特定非営利活動促進法及び県の特定非営利活動促進法施行条例に基づく特定非営利活動法人の設立、解散または合併の認証等の事務を行っている。

・取扱件数 (単位：件)

設立	解散	定款変更	役員変更受付	事業報告書等受付
6	-	7	12	33

(3) 市民協働推進員の設置及び研修会等の開催

庁内における市民との協働を推進するため、各課に市民協働推進員を設置するとともに、行政と市民との協働に関する意識の更なる向上を目指し、研修会等を開催した。

- ・ 協働推進研修会

対象者	実施日	場所	出席者（人）
職員	5月19日（火）	国府公民館	88
市民・職員	8月18日（火）	栃木県立学悠館高等学校	71

(4) 市民活動支援事業

NPO団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化をさらに促進するため、市民協働まちづくりファンド（基金）を設け、主体的・公益的な活動を行う市民団体に市民活動推進事業費補助金“とちぎ夢ファーレ”事業により活動経費の一部を助成した。

- ・ 助成団体数 35 団体
- ・ 助成総額 5,492,000 円
- ・ 寄附件数 273 件（内、269 件はふるさと応援寄附より）

ファンド（基金）への積立て

種別	金額（円）	備考
市民・企業からの寄附金	7,212,500	内 6,520,000 円はふるさと応援寄附より
積立金利子	3,828	
合計	7,216,328	

(5) とちぎ協働まつり

「みんなですすめる明るい豊かなまちづくり」を理念として、協働の活性化・推進を目的に、さまざまな市民が集い、毎年テーマを掲げ、市民自ら作り上げていくイベントとして、「とちぎ協働まつり 2015」を、とちぎ協働まつり実行委員会との共催により開催した。

- ・ 実施日 10月25日（日）
- ・ 会場 栃木市総合運動公園
- ・ テーマ わくわく～小さなわくわく みんなとつながる！～
- ・ 来場者 24,000 人

2 市民総合賠償補償保険制度の実施

市民総合賠償補償保険制度とは、市が所有、使用、管理する施設の瑕疵及び市の業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を総合的に補てんする賠償責任保険並びに市が主催する行事等に参加している住民の急激かつ偶然な外来の事故について、法律上の損害賠償責任の有無に関係なく、市が支払う補償金（見舞金）を補てんする補償保険により構成されている制度であり、全国市長会が加入市を被保険者とする団体保険契約を損害保険会社と締結して実施した。

保険の種類	支払件数(件)	支払金額（円）
損害賠償請求	2	1,295,331

補償金	1	10,000
-----	---	--------

3 市民活動補償制度の実施

市民活動補償制度とは、栃木市民で市民により自主的に構成された市民団体やその指導者が行う地域住民活動、青少年育成活動、社会福祉・社会奉仕活動、社会教育活動等で、本来の職場を離れて基本的に無報酬で行う継続的、計画的及び臨時的な実践活動中の事故について、指導者が賠償責任を負う場合の損害を補てんする賠償責任保険並びに指導者等や参加者が活動中に発生した急激かつ偶然な外来の事故について見舞金を支給する補償保険を市が保険会社と締結し、実施した。

保険の種類	支払件数(件)	支払金額(円)
損害賠償請求	—	—
補償金	4	2,043,000

4 地域版プラットフォーム事業

NPO等(NPO法人、ボランティア団体、公益法人、社会福祉法人、学校法人、地縁組織、協同組合等)、企業、行政を含むメンバーでプラットフォームを構成し次の事業を実施した。

(1) 新市の一体感の醸成事業

合併後の新市において、多くの市民にそれぞれの地域の魅力を知ってもらうため、各地域を訪れて地域資源の再発見をする事業及び小学生を対象に市の良さを知り発信する人材を育てる事業を実施した。

ア 栃木のとちぎ交流事業

コース	実施日	テーマ等	参加者数(人)
第1回【出流方面】	5月27日(水)	各地域の資源を再発見	21
第2回【栃木地域】	11月5日(木)	各地域の資源を再発見	29

イ めざせ!とちぎふるさと子ども観光大使事業

コース	実施日	内容	参加者数(人)
第1回【蔵の街】	6月20日(土)	蔵の街栃木を散策しよう	小学生 35
第2回【大平地域】	7月11日(土)	ぶどう狩り体験	小学生 46
第3回【都賀地域】	8月8日(土)	大柿で里山体験	小学生 28
第4回【岩舟地域】	9月26日(土)	座禅体験と慈覚大師・円仁を学ぼう	小学生 39
第5回【西方地域】	11月28日(土)	民話と昔の道具体験	小学生 28
第6回【藤岡地域】	12月5日(土)	新波の提灯づくりを学ぼう	小学生 36
第7回【認定式】	1月23日(土)	神明宮教室及びとちぎふるさと子ども観光大使認定証授与式	小学生 46 (認定者:48)